

6自治会40ヘルの  
田畑の「水瓶」に

上杉町にある周囲約四百  
畝、最も深い所の水深約九  
尺の「戸谷池」。この池

は、地元の施福寺と小嶋、  
久保、延近、門、大石の計  
六自治会内にある約四十畝

## 上杉町の「戸谷池」

築造の功労者の名にちなみ、「鶴の池」とも呼ばれる  
戸谷池(写真はいずれも上杉町で)

の田畑を潤す大切な「水瓶  
(みずがめ)」。となってい  
る。この溜(た)め池が八  
十年前に完成するまでに  
は、古里の窮状を憂う地元  
出身の実業家の多大な功績  
があった。

生まれ育った古里で住民  
たちが困り果てていること  
を知った鶴吉は、築造資金  
として私財を投じ、ことを  
決意。大正七年九月二十四

## 古里の窮状に私財投じる

地元出身の  
時岡鶴吉翁 80年前の築造に功労

吉。鶴吉は慶応二年(一八  
六六)、上杉町の大槻安兵  
衛の五子として生まれ、そ  
の後、舞鶴の時岡家の養子  
となる。京都と神戸の商家  
で働き、商才にたけていた  
鶴吉は独立。神戸で事業を  
興し、製紙原料や工業薬品  
などを扱う仲買業を営むよ  
うになった。

そのころ、上杉町内は灌  
漑(かんがい)用水不足  
で、夏場になると田畑の多  
くは干ばつに見舞われ、水  
を巡って住民同士の争いが  
絶えなかった。溜め池を築  
造する計画はあったが、資  
金不足で具体化できない状  
態が続いた。



八坂神社境内に建立されている時岡鶴吉翁の胸像

住民らが功績た  
たえて胸像建立

溜め池築造の功労者にち  
なみ、地元では「鶴の池」  
とも呼ばれている。また、  
大事な水源となるこの池を  
守るため畔(ほとり)に祭  
られている水神社は、「時  
岡神社」と名付けられてい  
る。

同神社の例祭は、池の完  
成式が行われた四月二十七  
日ごろに毎年営まれてい  
る。鶴吉自身も、昭和十四  
年に享年七十四歳で亡くな  
るまで例祭に欠かさず参列  
したらしい。池を管理する  
「上杉戸谷鶴の池利水組  
合」(稲葉和美組合長、百  
五十一人)は今年の例祭を  
四月二十九日に執り行うこ  
とにしており、当日は神戸  
や京都に住む鶴吉の遺族ら  
も参列する。

同町の府道上杉和知線沿  
いにある八坂神社境内に  
は、鶴吉の胸像が立つ。池  
の完成五十周年を記念して  
昭和四十四年に、利水組合  
が鶴吉の遺徳をしのんで建  
立したものだ。「鶴の池」  
のおかげで、上杉町内では  
今日、干害で苦しむといっ  
たことがなくなった。

町内の水田では、今年も  
コメづくりの準備が始まっ  
た。しかし、減反や米価低  
迷など農業を取り巻く情勢  
は厳しさを増すばかり。古  
里の田畑を眺める胸像の鶴  
吉の目に、現在の状況はど  
のように映っているのだら  
うか。

文中敬称略

(細見)